



エコツーリズムin積丹

2016年
8/27, 28

晴天の中、大自然を堪能する2日間

積丹でのエコツーリズムも5回目を迎え、30人が参加しました。過去5回で一番の快晴で、積丹ブルーの海の美しさに感動的でした。1日目は二手に分かれて、幌武意海岸と島武意海岸での清掃活動。どちらも岩場での活動で、足場が悪く、ゴミが岩に挟まっています拾うのに苦戦しつつも、美しい海を守るためにみんな一生懸命でした。

2日目は町内一斉清掃と重なり、地元の人と幌武意漁港付近の清掃活動をしました。活動後の潮風が気持ち良く、波の音は海が「ありがとう」と言っているようでした。



足場の悪い岩場で頑張る



海外からの漂着ゴミ



漂着?不法投棄?タイヤも



消波ブロックの下にも多くのゴミ



2日目 漁港周辺の清掃



NPO法人 北海道海浜美化をすすめる会



エコツアーリズムin積丹

2016年
8/27,28

清掃以外にも、日本の渚百選の島武意海岸や幌武意海岸の夕焼けを見たり、クルージングや体験ダイビングで、積丹の美しい景色を体験。カニや刺身、アワビなど新鮮な海の幸を味わい、自然の恵みを大いに堪能できました。

また夜は勉強会を開催。酪農学園大学の郡山先生のゼミから、積丹周辺海域のトドやアザラシなどの海獣の生体行動についての発表あり、活発な質疑応答で自然や動物への理解を深めました。



美しい積丹の大自然



美味しい海の幸やBBQ



毎年お世話になっているZemHouse



クルージングとダイビング





国際ごみ拾いビーチウォーク

2回目の開催、150人が参加し国際交流



今年で2回目となった「インターナショナルごみ拾いビーチウォーク」は、ロシア領事館から首席領事ご夫妻を含め10名程と、北大の中国人留学生6名と、北海学園大学Pコネクションなど、スタッフを含め150名ほどが参加し、国際色豊かな活動となりました。ゴミ拾い活動後は、石狩海浜植物保護センターで植物観察をして、石狩浜辺の植生も勉強しました。

留学生から「中国でも環境問題が大きくなっている。帰国しても、このような活動をしたい」という感想や、参加者からは「来年も参加したいので、続けてくださいね」との声もありました。



ロシア領事館の領事ご夫妻



中国の留学生たち



活躍したPコネメンバー



清掃後は石狩浜の観察会





ビーチコーミングin浜益

2016年

10/2

ゴミの集計調査を継続、飛び入り参加者も

晴天に恵まれ、2016年最後の清掃活動。北海学園大学ボランティアサークルPコネクション15名と会員10名、合わせて25名ほどで、ビーチコーミングと海岸清掃をしました。浜辺で遊んでいた若者2名が飛び入り参加し、海岸のゴミの多さに驚いていました。

川から流れた生活ゴミが浜辺に漂着して、劣化したものが多く、また、河口付近は台風で上流から流れてきた肥料袋などが散乱していました。今年も、全体的にプラスチック片や発泡スチロールが多く、他にも漁網や漁具の破片も多かったです。

活動後は、スタッフが準備していた温かい豚汁に舌鼓を打ちました。



漂着ゴミを集計しながら



Pコネの学生達でビーチコーミング



NPO法人 北海道海浜美化をすすめる会